

「新時代とやまハイスクール構想に関する意見交換会」での主なご意見

【富山会場】令和7年8月30日(土) 14:30～16:30

参加者 62 名：発言者 13 名（実人数 12 名）、書面によるご意見 23 名

【高岡会場】令和7年8月31日(日) 13:00～15:00

参加者 52 名：発言者 13 名（実人数 13 名）、書面によるご意見 20 名

主なご意見

実施方針（素案）	・基本目標にある「生きる力」とはどのような力かという共通認識があるとよい。また、「スタンダード」でその力をどのように育むかも教えてほしい。 ・「スタンダード」の特色である柔軟に科目選択できる仕組みは必要だが、「文系でも数学Ⅲ」の例は適切ではない。別の例がよい。 ・<u>校舎が残った学校の歴史だけが引き継がれ、地域の対立につながらないように、そして生徒を巻き込むことがないよう進めてほしい。</u> ・中規模校については、様々な職業系専門学科があるので、色々なバリエーションのある魅力的な学校をつくってほしい。 ・近年、職業系専門学科の割合が高くなっており、生徒の進路希望とは異なっている。 ・商業教育を軽視しているように見える。社会の経済活動に商業活動が関わっており、お金の動きを専門的に学ぶ商業教育は大切。 ・<u>大規模校は、県内すべての中学生が選択し、通学できる魅力ある学校をつくってほしい。</u> ・<u>生徒数が急激に減少する中、大規模校はなぜ必要なのか。</u> ・大規模校は、2つの中規模校が姉妹校になって活動すればよいだけではないか。 ・全国募集について、南砺平高校での取組みを検証し、他校への導入も検討してほしい。 ・<u>令和10年度頃とされている第1期校の設置に向けては、スケジュールありきで進めないでほしい。</u> ・現在ある34校の配置や教育内容を示し、どんな課題があるからこのように再構築していくことを示すべき。 ・<u>多様な選択肢があっても通学できないということがないよう、交通の便を踏まえて、新時代HSを配置してほしい。</u>
「新時代とやまハイスクール」の学校像	・「プログレス」HSに「個別最適な学びと協働的な学び」とあるが、これはどの学校にも必要なこと。 ・「プログレス」HSと「STEAM」HSはどちらも探究活動や大学連携が含まれており、違いが分かりにくい。 ・「プログレスHS」の魅力が他と比べて弱い印象。 ・「大規模校」や「グローバル」HSは人気が出ると思うが、地元企業（主に製造業）とミスマッチが起き、人材の流出を招くのではないか。 ・進路指導を行う中学校教員がこの類型についてどう考えているか知りたい。 ・富山県は、国公立大学や地元就職など、高校卒業後の進路が画一的でお堅いイメージがあるが、構想では多様な進路の実現も目指している。 ・<u>生徒数の減少で部活動が縮小・廃止される事例もあるが、部活動は生徒の居場所、自己実現の場でもあり、構想が実現すれば、そうした場の提供が可能になる。自分は、そうした学校で働けることを楽しみにしている。</u> ・<u>多様化が進む中で、様々な生徒が集まる大規模校は、より多くの人と出会い、違った価値観に触れ、それを認め合うことができる環境になると感じた。将来富山県の教員になりたいと思っているが、構想にあるような魅力ある学校で働きたいので、実現してほしい。</u>

その他	・私立高校に比べ、県立高校の魅力が中学生や保護者に伝わっていない。しっかり魅力発信して欲しい。 ・新しい学校像をPRすることも大切だが、それを運営していく教員確保のためにも、働き方改革についてPRしていくことも必要。 ・教員の働き方を多くの方に知っていただき、根本を変えなければ職場は変わらない。 ・県外からも生徒を呼び込めるよう、高専の拡充・新設を検討してほしい。 ・教育内容に合わせた施設が必要になるので、ハード面の改修も併せて検討してほしい。 ・不登校生徒が増加していることを踏まえた検討が必要。 ・生徒と教師の信頼関係を築くためには4～8学級ではないか。進路の実現や部活動を考えると6学級は必要。 ・少人数学級は目の行き届いた教育ができるので、拡充してほしい。 ・特別支援学校の統廃合も含め、障がいを持つ生徒が学べる場を新しい学校に入れてもよい。 ・子どもがいないのに高校の建物ばかりあっても仕方がない。県の資源を集約し、県民税を有効に使ってほしい。 ・これから高校に進学する小学校の保護者など当事者の意見を聞いてほしい。 ・検討には現職教員等も入れてほしい。 ・教職員の働き方等、職場環境の話ばかりで、実際の子ども達にどのような教育の場を提供していくかという話がなく非常に残念に感じた。
------------	--